

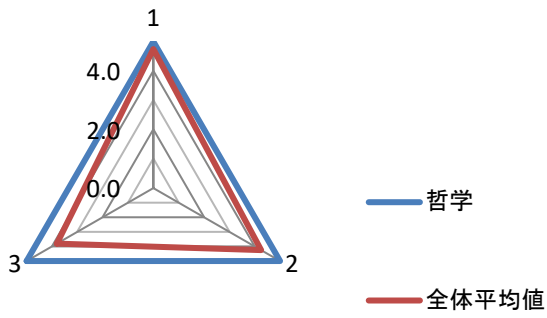
令和4年度第1学年前期「哲学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
1	1	100%

実施日:最終授業日から3日間

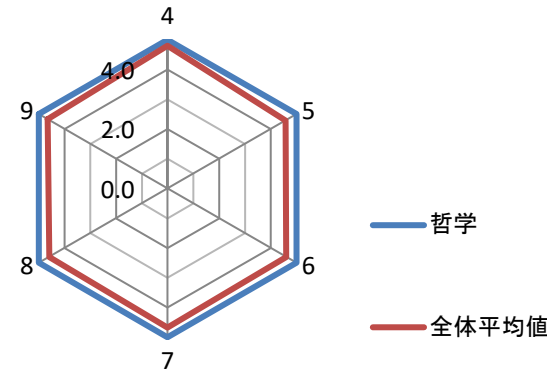
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	哲学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	5.0	3.8	2.3	5.0

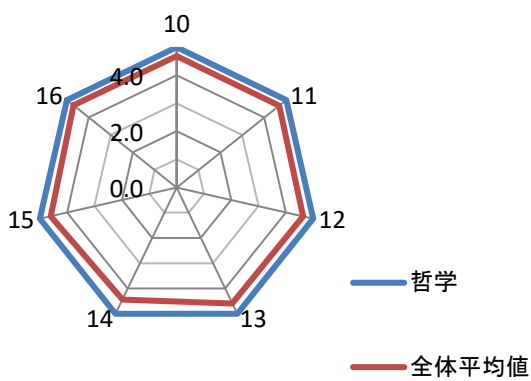
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	哲学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	哲学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

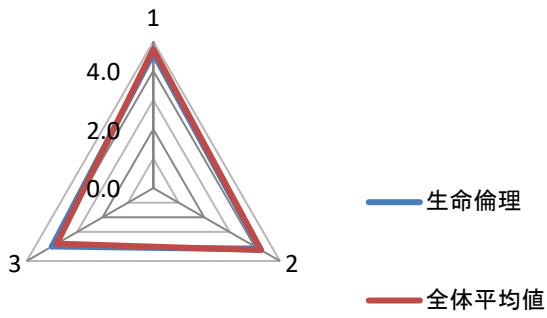
令和4年度第1学年前期「生命倫理」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
17	5	29%

実施日:最終授業日から3日間

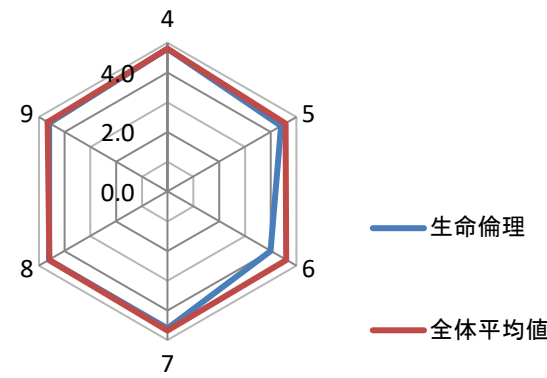
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生命倫理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.8	2.3	5.0

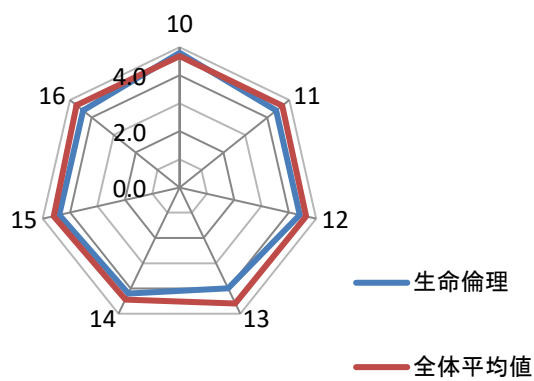
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生命倫理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.6	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生命倫理	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.0	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.2	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.7	4.0	5.0

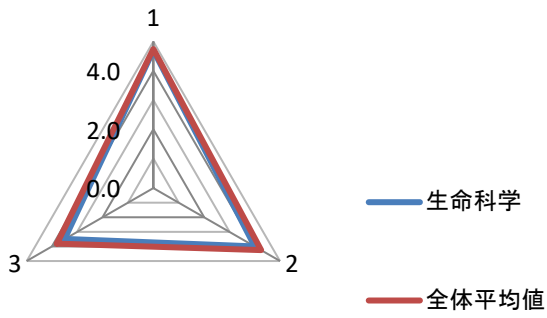
令和4年度第1学年前期「生命科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	34	40%

実施日:最終授業日から3日間

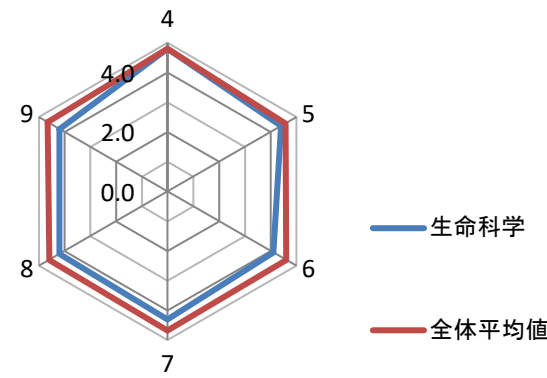
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生命科学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.8	2.3	5.0

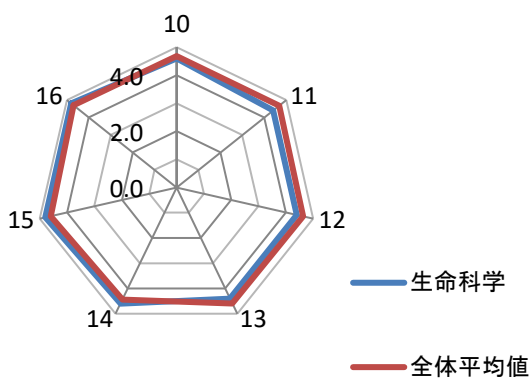
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生命科学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.2	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生命科学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.0	5.0

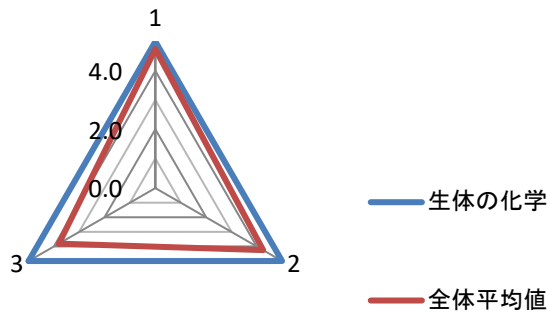
令和4年度第1学年前期「生体の化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
3	2	67%

実施日:最終授業日から3日間

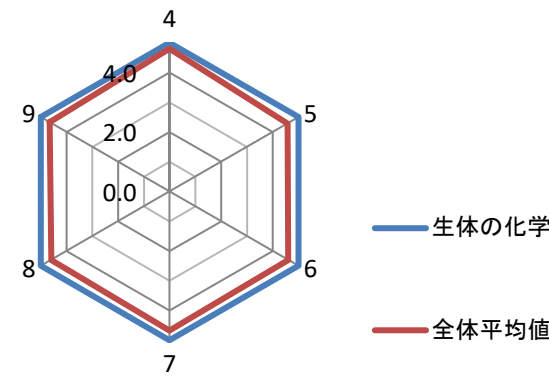
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生体の化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	5.0	3.8	2.3	5.0

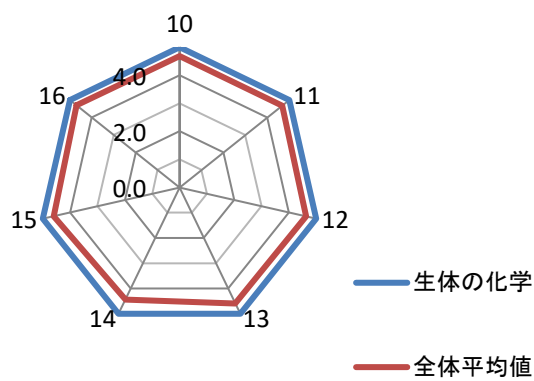
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生体の化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生体の化学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

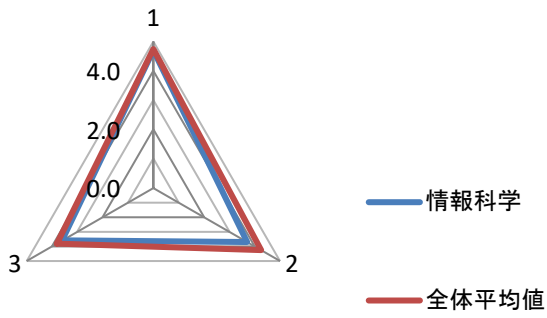
令和4年度第1学年前期「情報科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	53	63%

実施日:最終授業日から3日間

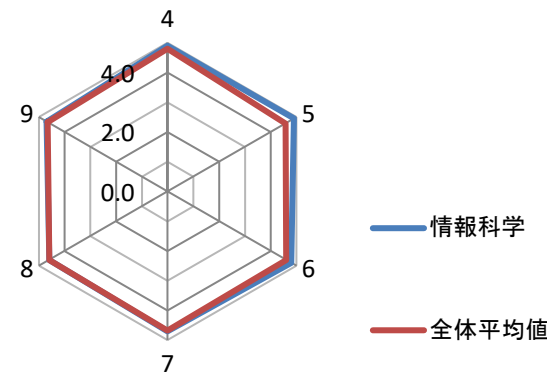
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.7	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.6	3.8	2.3	5.0

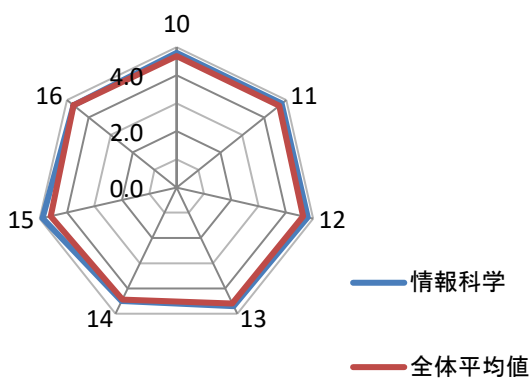
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.6	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.7	4.0	5.0

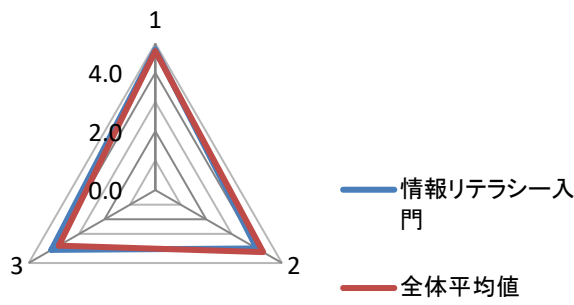
令和4年度第1学年前期「情報リテラシー入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
27	20	74%

実施日：最終授業日から3日間

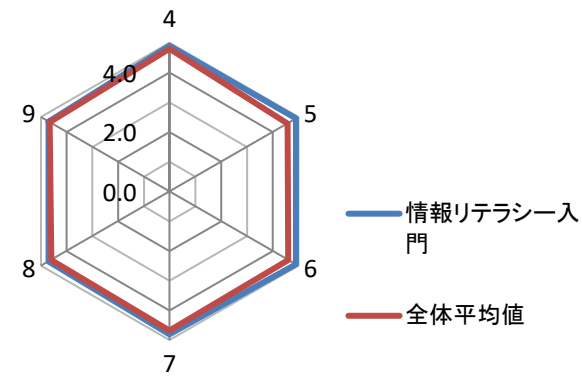
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	情報リテラシー入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	3.8	2.3	5.0

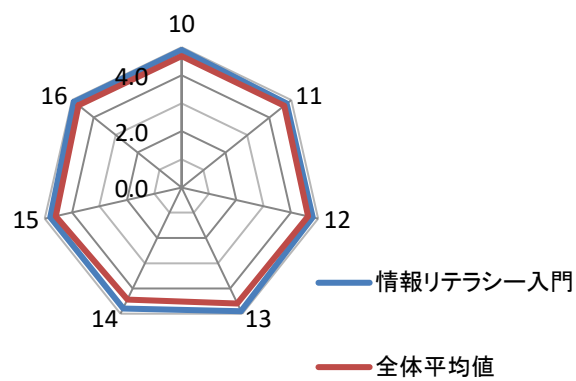
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	情報リテラシー入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.7	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	情報リテラシー入門	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.0	5.0

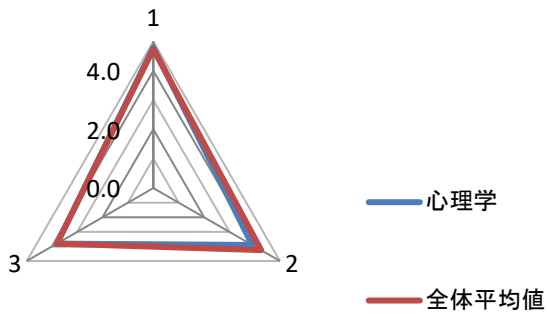
令和4年度第1学年前期「心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	33	39%

実施日:最終授業日から3日間

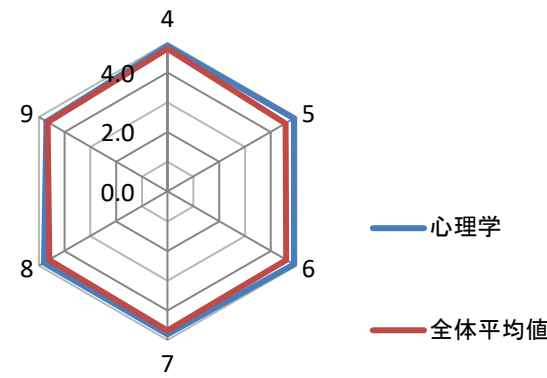
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.8	2.3	5.0

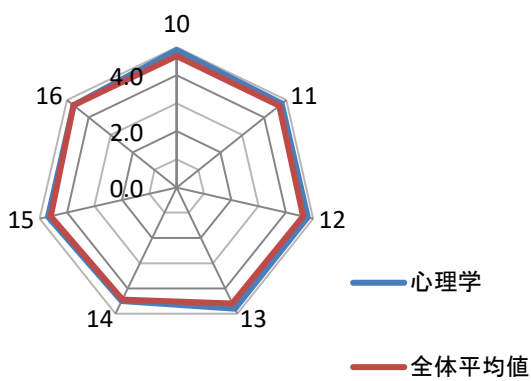
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.8	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.7	4.0	5.0

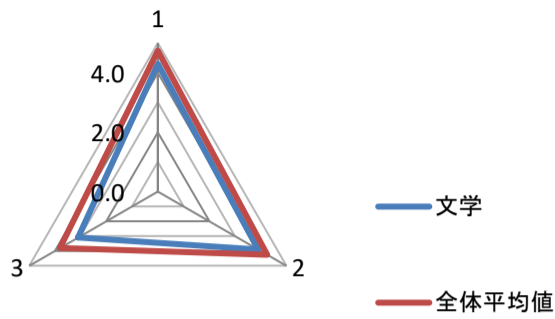
令和4年度第1学年前期「文学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
20	7	35%

実施日:最終授業日から3日間

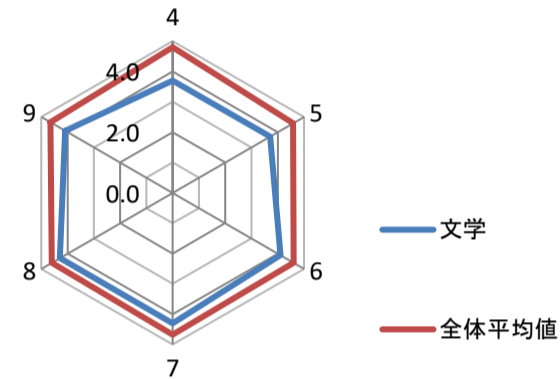
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	文学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.3	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.8	2.3	5.0

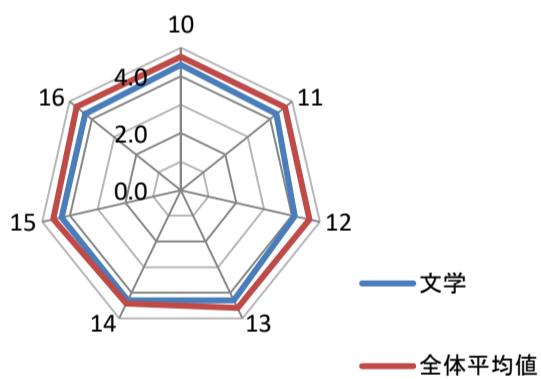
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	文学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	3.7	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.7	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.3	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	文学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.7	4.0	5.0

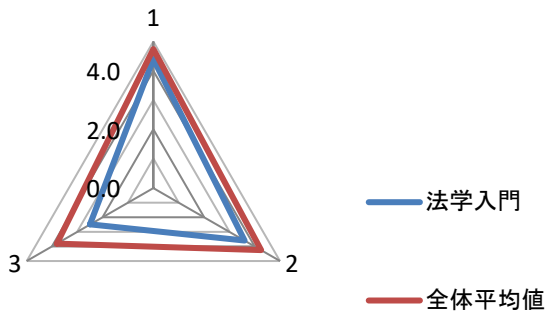
令和4年度第1学年前期「法学入門」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	41	49%

実施日:最終授業日から3日間

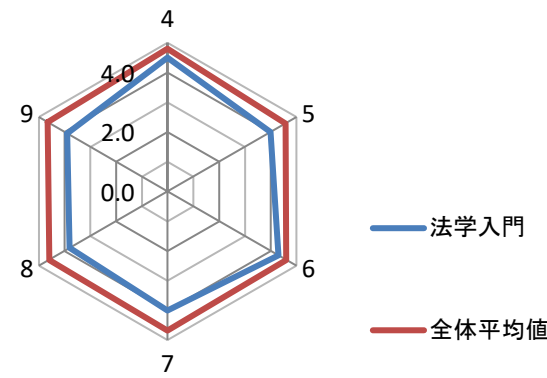
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	法学入門	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.4	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	2.5	3.8	2.3	5.0

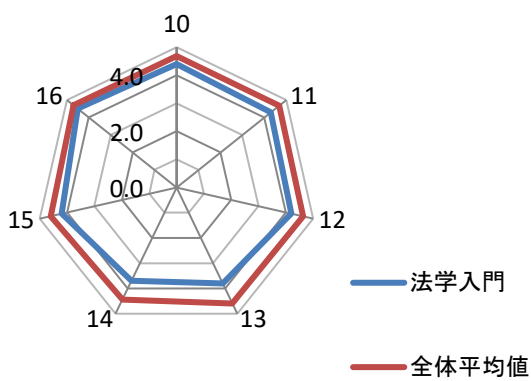
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	法学入門	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.7	3.5	5.0
8 知的的好奇心が刺激された。	3.8	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.9	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	法学入門	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.7	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.0	5.0

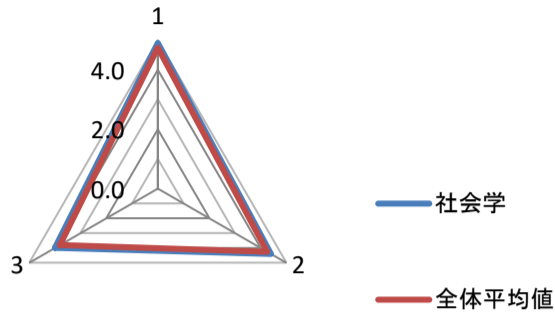
令和4年度第1学年前期「社会学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
43	21	49%

実施日：最終授業日から3日間

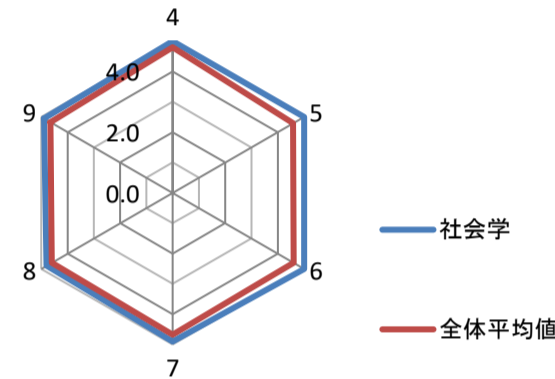
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	社会学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.8	2.3	5.0

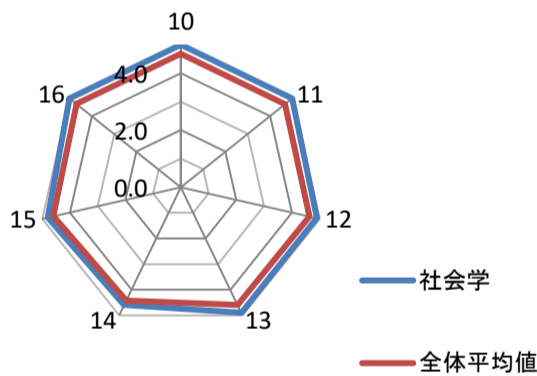
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	社会学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.8	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	社会学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

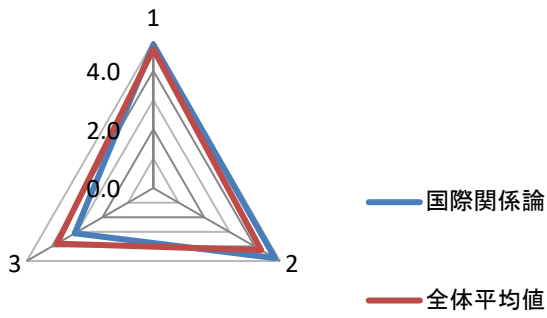
令和4年度第1学年前期「国際関係論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
12	9	75%

実施日:最終授業日から3日間

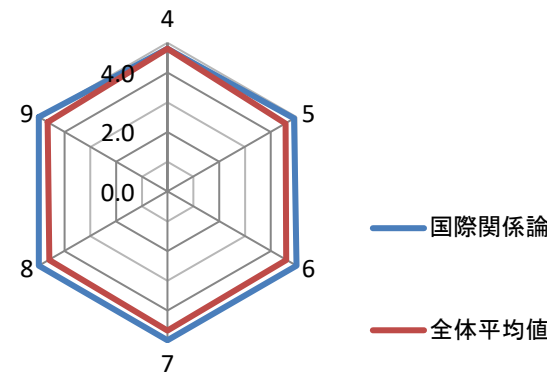
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際関係論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.8	2.3	5.0

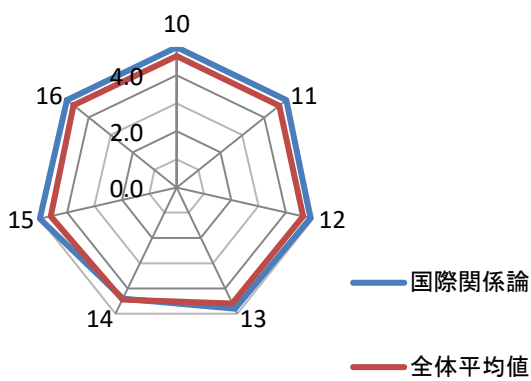
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	国際関係論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	国際関係論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

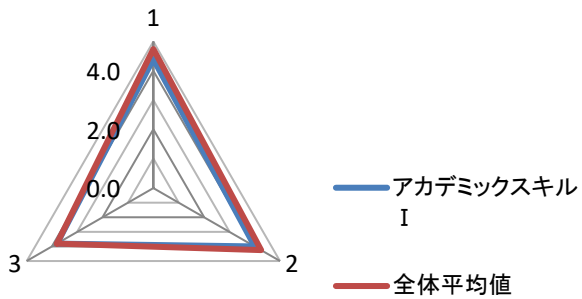
令和4年度第1学年前期「アカデミックスキル I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	76	90%

実施日：最終授業日から3日間

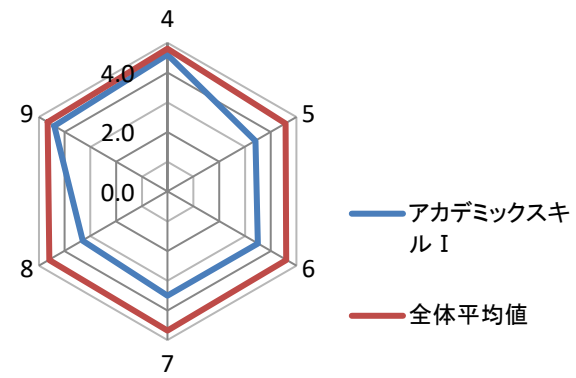
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	アカデミックスキル I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.4	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.8	2.3	5.0

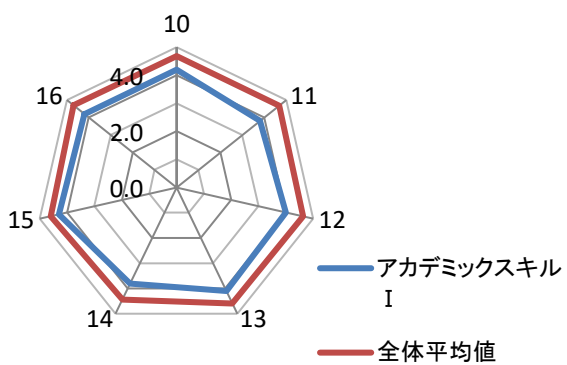
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	アカデミックスキル I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.4	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.5	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.5	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	3.3	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	アカデミックスキル I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.8	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.1	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.8	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.2	4.7	4.0	5.0

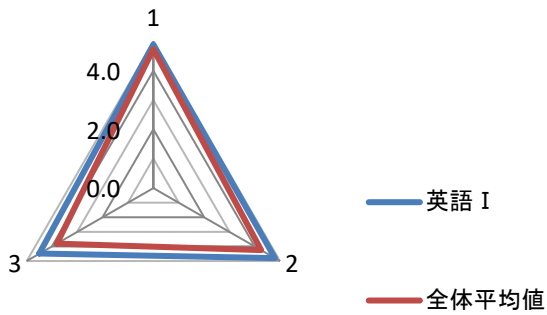
令和4年度第1学年前期「英語 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	29	35%

実施日：最終授業日から3日間

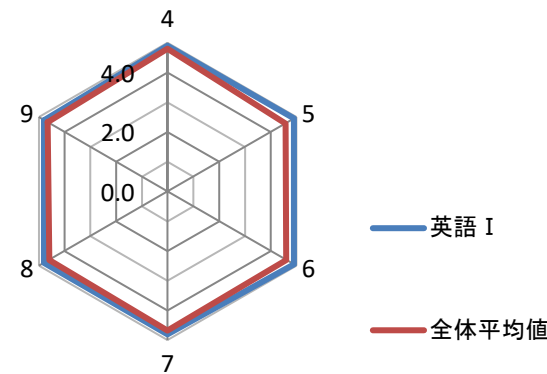
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	3.8	2.3	5.0

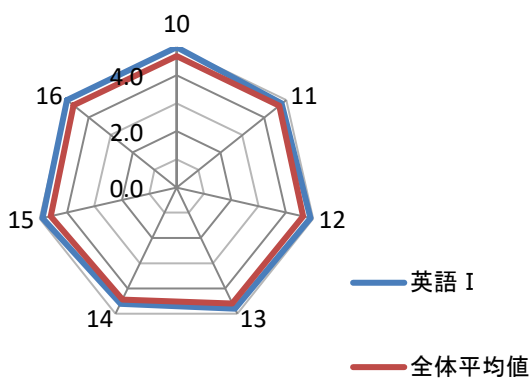
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.8	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

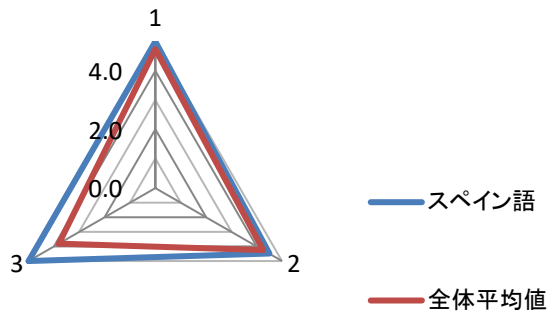
令和4年度第1学年前期「スペイン語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
11	2	18%

実施日：最終授業日から3日間

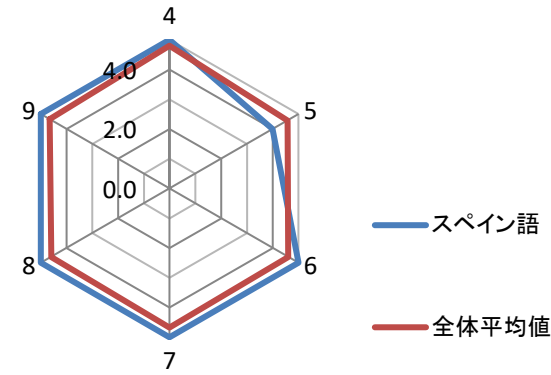
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

		スペイン語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1	シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.3	5.0
2	シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.3	3.3	5.0
3	教員に授業内容について質問した。	5.0	3.8	2.3	5.0

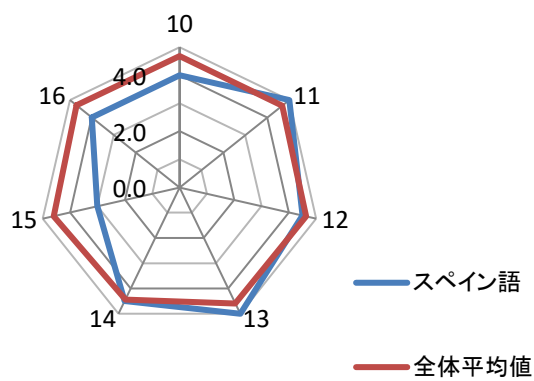
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

		スペイン語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4	シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5	授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.6	3.4	5.0
6	授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.6	3.5	5.0
7	授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8	知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9	自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

		スペイン語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10	教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.7	3.9	5.0
11	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12	教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	4.0	5.0
13	教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.8	5.0
14	オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.5	4.4	3.7	5.0
15	授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.0	4.6	3.0	5.0
16	授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.7	4.0	5.0

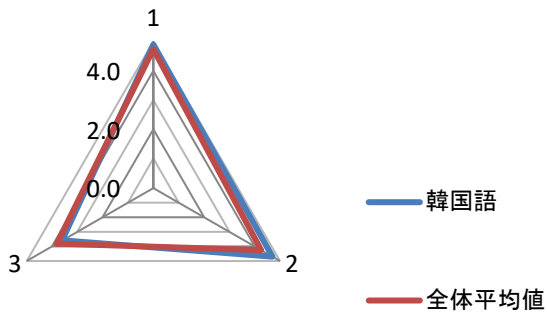
令和4年度第1学年前期「韓国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
33	12	36%

実施日:最終授業日から3日間

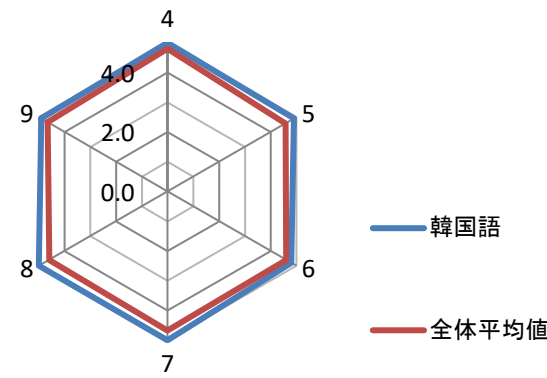
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.6	3.8	2.3	5.0

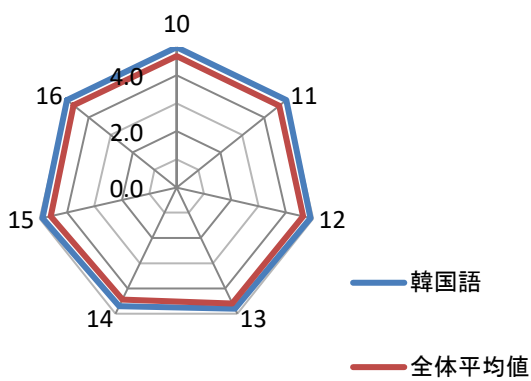
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.0	5.0

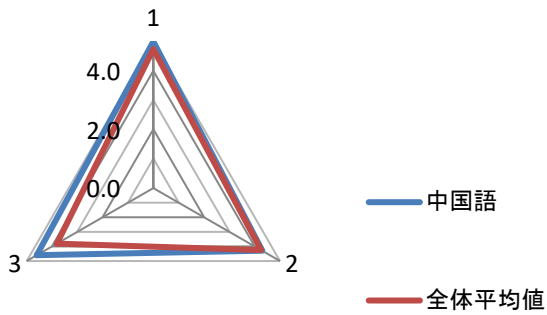
令和4年度第1学年前期「中国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
28	9	32%

実施日:最終授業日から3日間

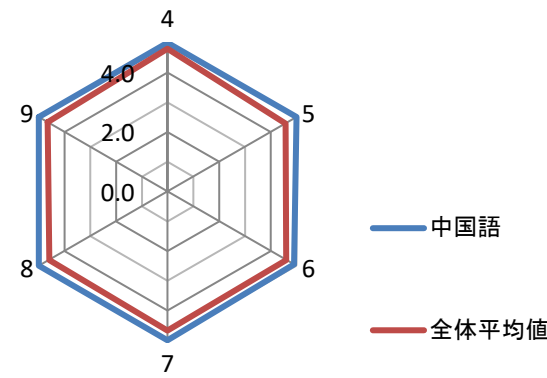
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

		中国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1	シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.3	5.0
2	シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.3	3.3	5.0
3	教員に授業内容について質問した。	4.6	3.8	2.3	5.0

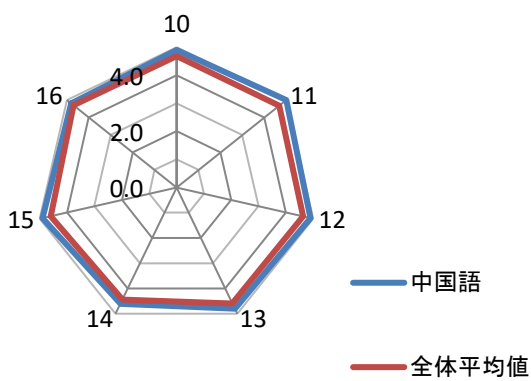
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

		中国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4	シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	3.7	5.0
5	授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.6	3.4	5.0
6	授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.6	3.5	5.0
7	授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8	知的な好奇心が刺激された。	5.0	4.6	3.3	5.0
9	自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

		中国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10	教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.7	3.9	5.0
11	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	3.8	5.0
12	教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.0	5.0
13	教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14	オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	5.0
15	授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
16	授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.0	5.0

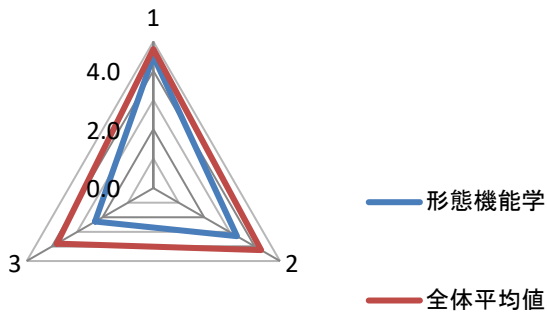
令和4年度第1学年前期「形態機能学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
91	56	62%

実施日：最終授業日から3日間

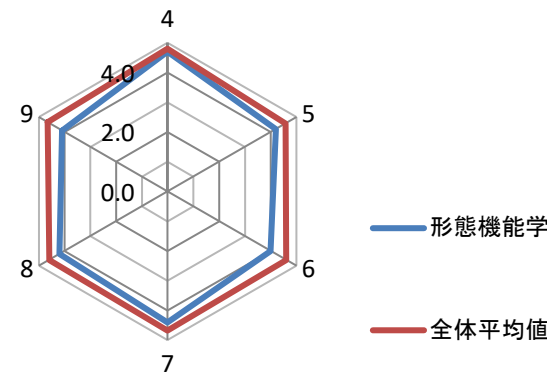
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	形態機能学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.3	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	2.3	3.8	2.3	5.0

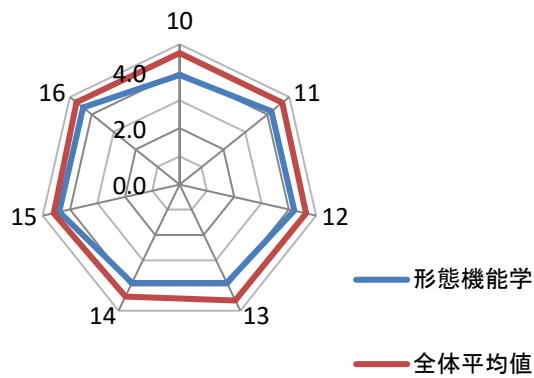
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	形態機能学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.2	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	形態機能学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.9	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.9	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.9	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.7	4.0	5.0

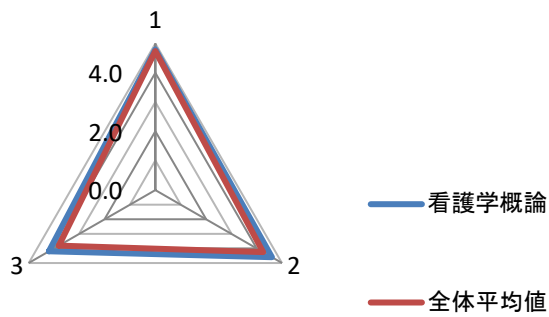
令和4年度第1学年前期「看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
97	35	36%

実施日:最終授業日から3日間

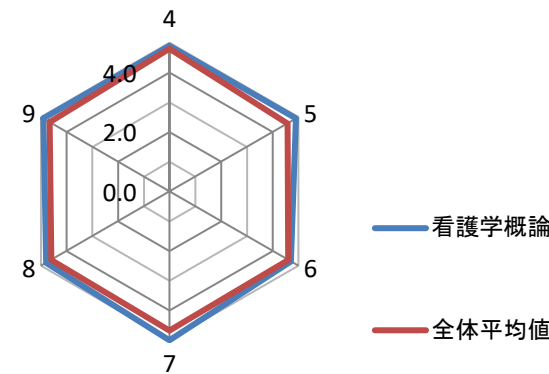
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	3.8	2.3	5.0

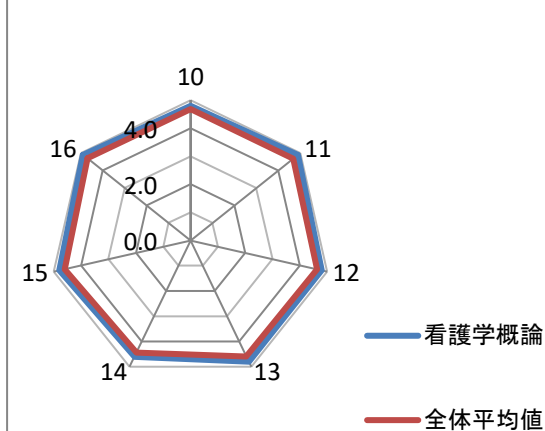
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.7	3.5	5.0
8 知的的好奇心が刺激された。	4.8	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

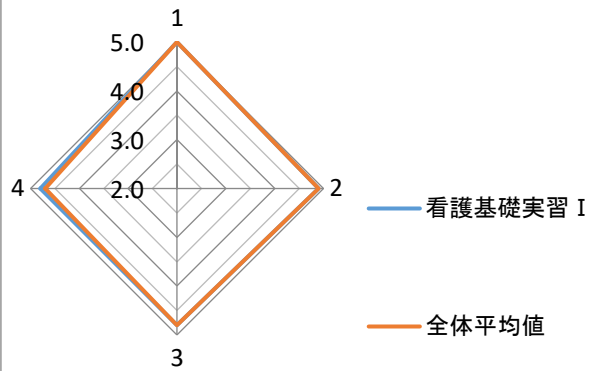
	看護学概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.0	5.0

令和4年度第1学前期「看護基礎実習 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	39	45%

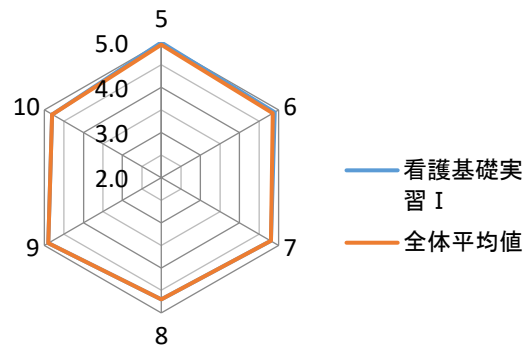
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護基礎実習 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に臨んだ。	5.0	5.0	5.0	5.0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組	4.9	4.9	4.9	4.9
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極	4.8	4.8	4.8	4.8
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったこと	4.8	4.7	4.6	4.8

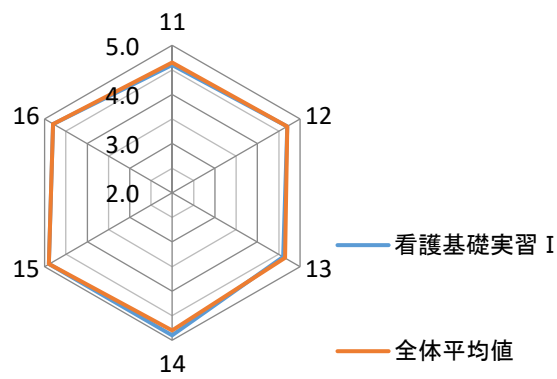
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護基礎実習 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てら	5.0	5.0	4.9	5.0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で	4.9	4.9	4.8	4.9
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.8	4.8	4.8	4.8
8 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.7	4.7	4.7	4.7
9 看護への興味や関心が高まった。	4.9	4.9	4.9	4.9
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度	4.8	4.8	4.8	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

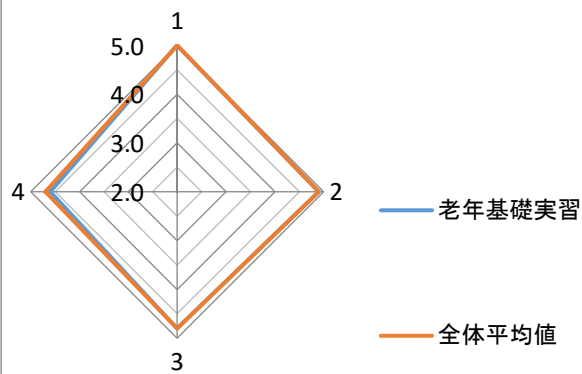
	看護基礎実習 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
11 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	4.7	4.6	4.7
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切	4.7	4.7	4.7	4.7
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	4.6	4.7	4.6	4.7
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.9	4.8	4.7	4.9
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮	4.9	4.9	4.9	4.9
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が	4.8	4.8	4.7	4.8

令和4年度第1学年前期「老年基礎実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	38	45%

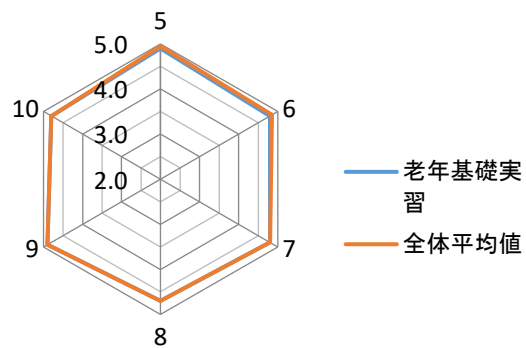
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	老年基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い実習に臨んだ。	5.0	5.0	5.0	5.0
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	4.9	4.9	4.9	4.9
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.8	4.8	4.8
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.6	4.7	4.6	4.8

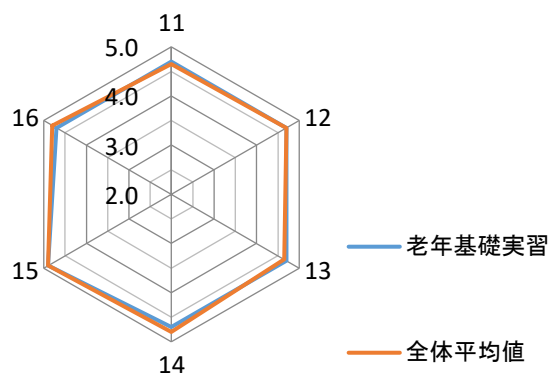
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	老年基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	4.9	5.0	4.9	5.0
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.8	4.9	4.8	4.9
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.8	4.8	4.8	4.8
8 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.7	4.7	4.7	4.7
9 看護への興味や関心が高まった。	4.9	4.9	4.9	4.9
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた。	4.8	4.8	4.8	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	老年基礎実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
11 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.7	4.7	4.6	4.7
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.7	4.7
13 教員と実習施設の連携が図られていた。	4.7	4.7	4.6	4.7
14 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.7	4.8	4.7	4.9
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた。	4.9	4.9	4.9	4.9
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた。	4.7	4.8	4.7	4.8

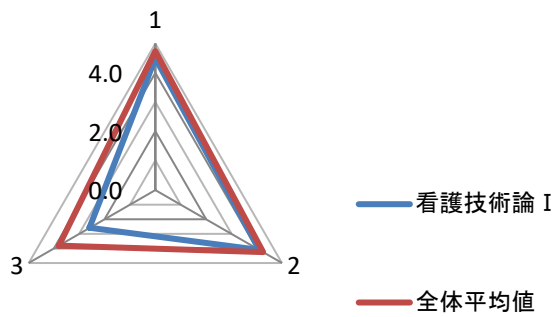
令和4年度第1学年前期「看護技術論 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
92	60	65%

実施日:最終授業日から3日間

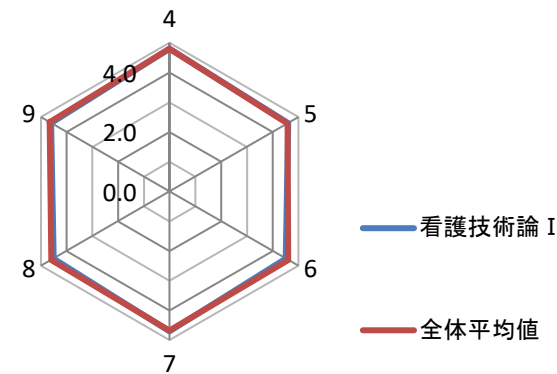
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護技術論 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	2.6	3.8	2.3	5.0

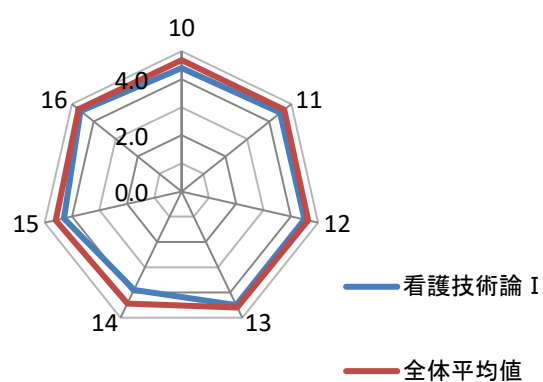
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護技術論 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	3.7	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.6	3.4	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.6	3.5	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.7	3.5	5.0
8 知的な好奇心が刺激された。	4.5	4.6	3.3	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.7	3.9	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護技術論 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.7	3.9	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.7	3.8	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	4.0	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.6	3.8	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.9	4.4	3.7	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	3.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.0	5.0

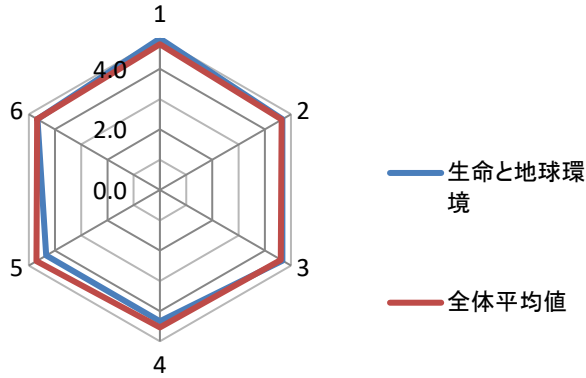
令和4年度第1学年後期「生命と地球環境」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
5	3	60%

実施時期(令和4年11月16日～令和4年11月18日)

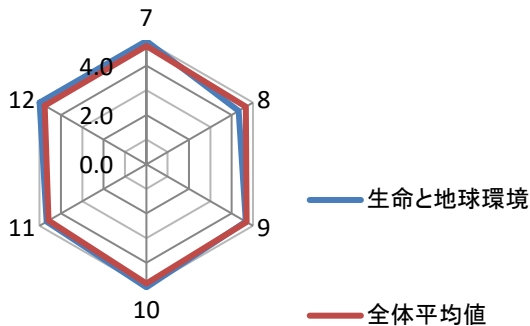
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	生命と地球環境	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.7	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.3	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.3	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.7	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	生命と地球環境	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

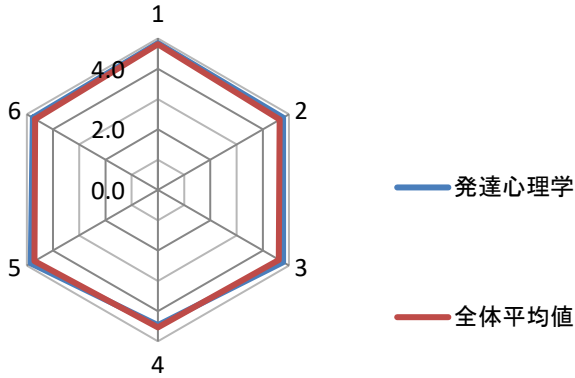
令和4年度第1学年後期「発達心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	13	15%

実施時期(令和4年12月1日～令和4年12月3日)

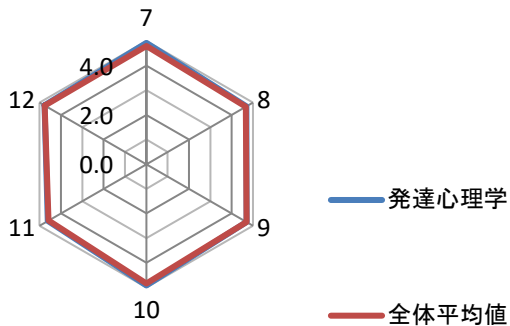
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	発達心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.8	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.8	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.5	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	発達心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.6	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	4.1	5.0

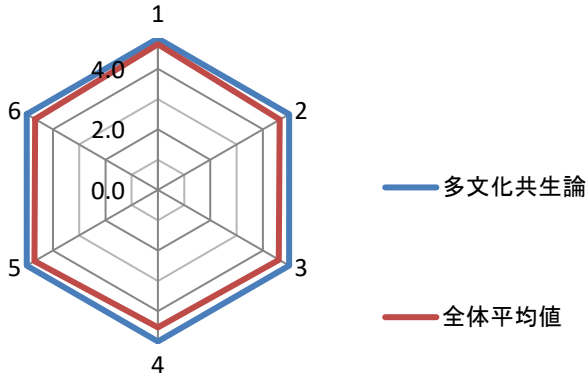
令和4年度第1学年後期「多文化共生論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
9	1	11%

実施時期(令和5年1月19日～令和5年1月21日)

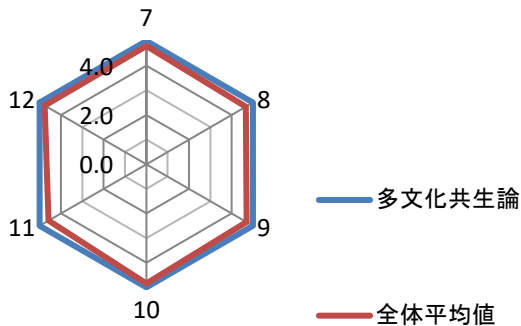
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	多文化共生論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	多文化共生論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

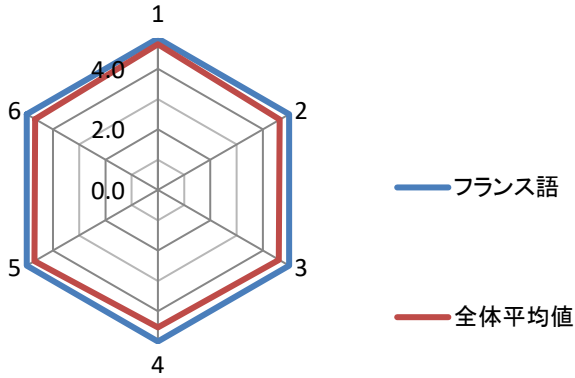
令和4年度第1学年後期「フランス語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
1	1	100%

実施時期(令和5年1月16日～令和5年1月18日)

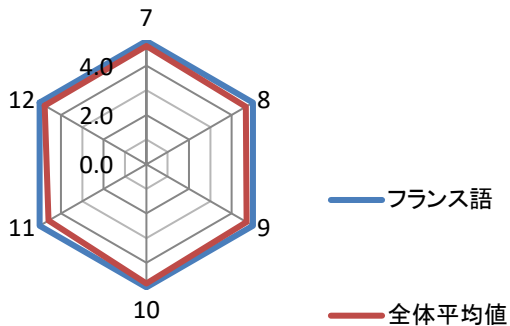
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	フランス語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	フランス語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

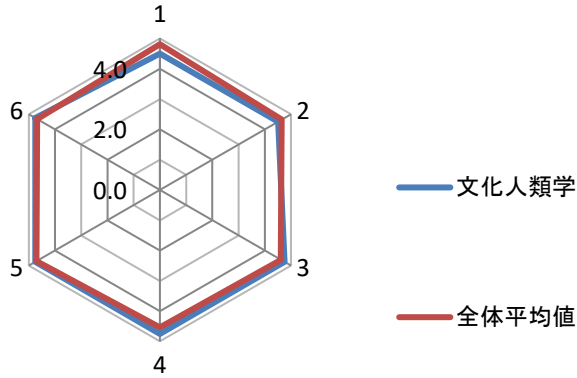
令和4年度第1学年後期「文化人類学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	4	21%

実施時期(令和5年1月6日～令和5年1月8日)

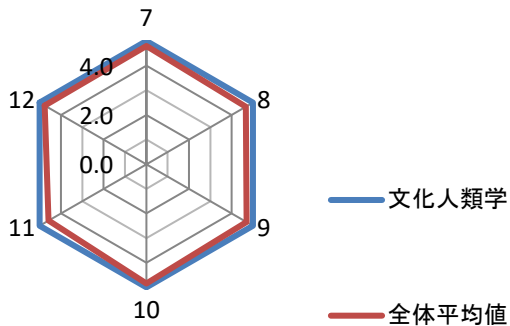
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	文化人類学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.5	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.5	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.8	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.8	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	文化人類学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

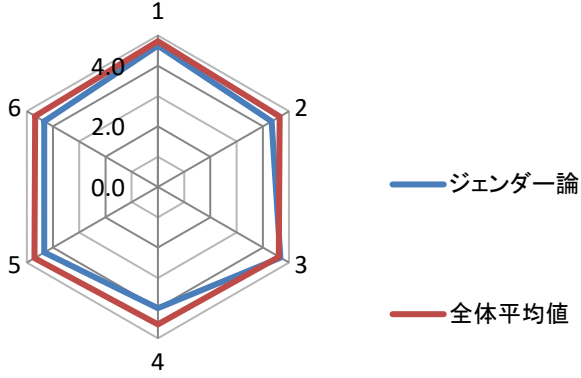
令和4年度第1学年後期「ジェンダー論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
50	3	6%

実施時期(令和5年1月6日～令和5年1月8日)

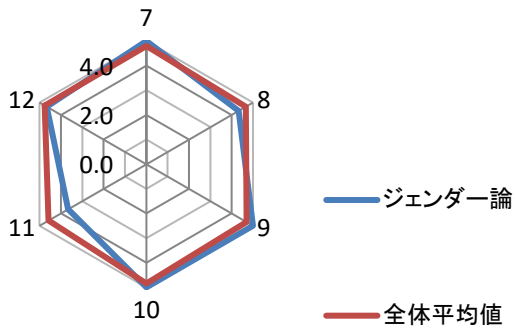
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	ジェンダー論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.3	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.0	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.3	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.3	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	ジェンダー論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.1	5.0

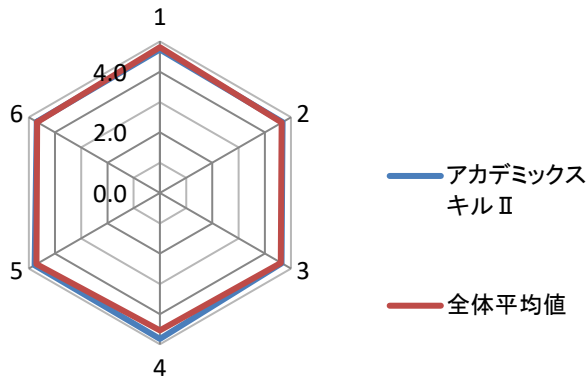
令和4年度第1学年後期「アカデミックスキルⅡ（基礎ゼミ）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	49	58%

実施時期(令和5年1月6日～令和5年1月8日)

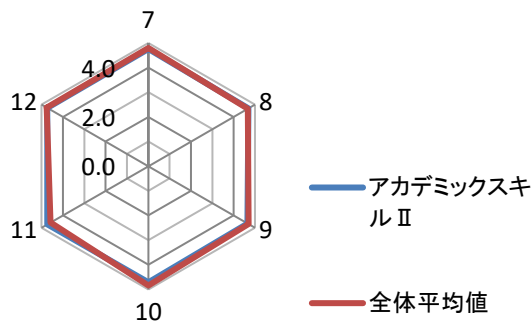
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	アカデミックスキルⅡ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.7	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.6	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.8	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.7	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	アカデミックスキルⅡ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.7	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.1	5.0

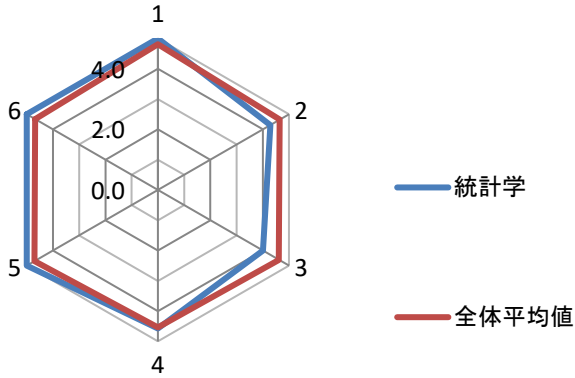
令和4年度第1学年後期「統計学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	7	8%

実施時期(令和5年1月17日～令和5年1月19日)

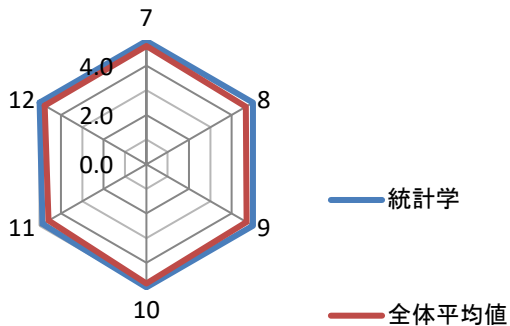
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.3	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.0	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	統計学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.9	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

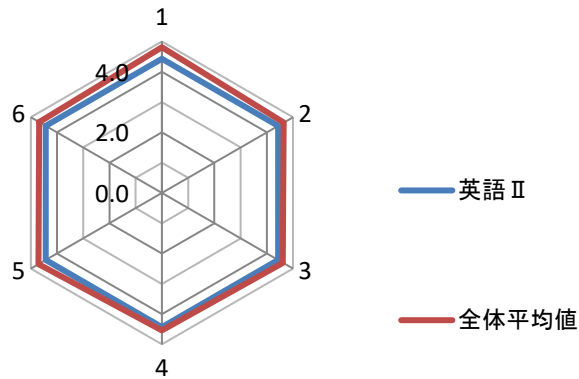
令和4年度第1学年後期「英語Ⅱ（コミュニケーション）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	7	8%

実施時期(令和5年1月19日～令和5年1月21日)

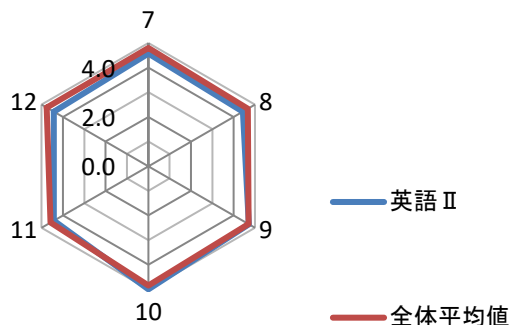
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	英語Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.4	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.4	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.4	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.4	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.4	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.4	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	英語Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.8	4.1	5.0

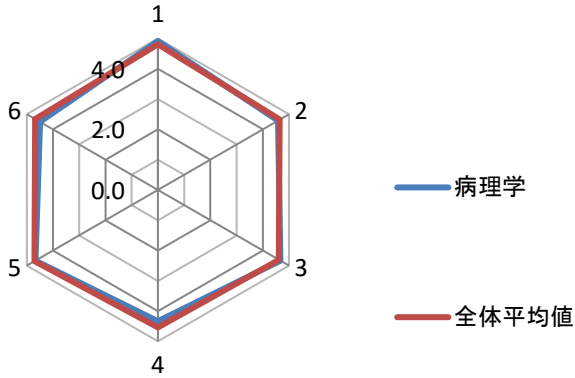
令和4年度第1学年後期「病理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	12	14%

実施時期(令和4年11月18日～令和4年11月20日)

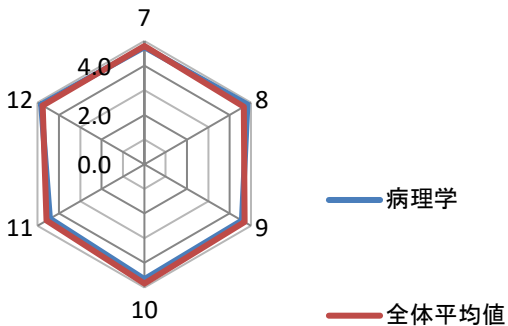
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	病理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.6	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.3	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.7	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	病理学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.6	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.7	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	4.1	5.0

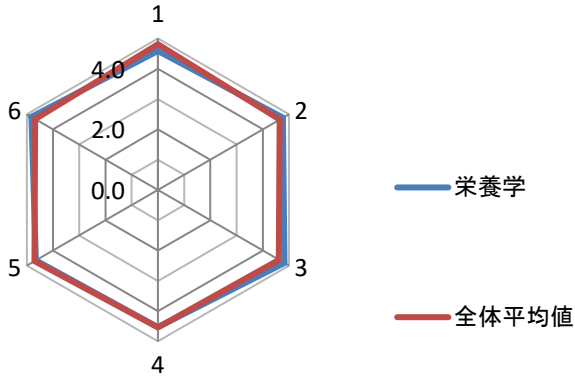
令和4年度第1学年後期「栄養学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	17	20%

実施時期(令和4年11月21日～令和4年11月23日)

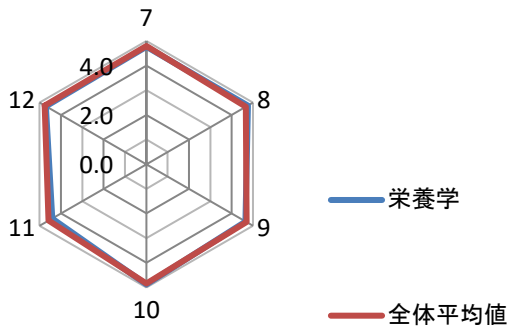
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	栄養学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.6	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.8	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.5	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	栄養学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.6	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.4	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.1	5.0

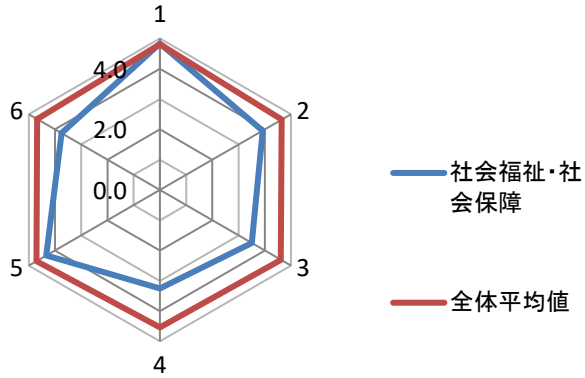
令和4年度第1学年後期「社会福祉・社会保障」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	12	14%

実施時期(令和4年12月19日～令和4年12月21日)

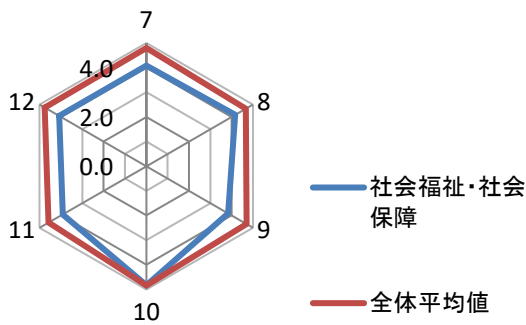
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	社会福祉・社会保障	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.8	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	3.9	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3.5	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	3.3	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.3	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	3.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	社会福祉・社会保障	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.8	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.8	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3.9	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.1	4.8	4.1	5.0

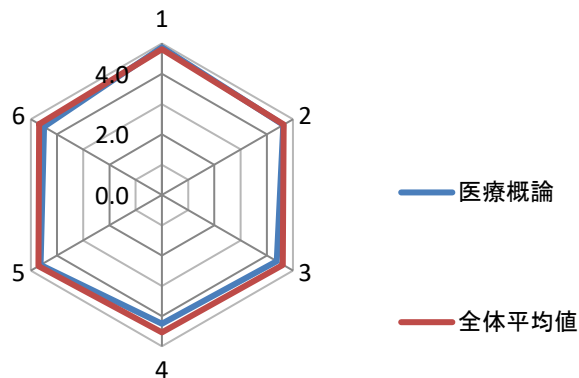
令和4年度第1学年後期「医療概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
59	8	14%

実施時期(令和4年11月30日～令和4年12月2日)

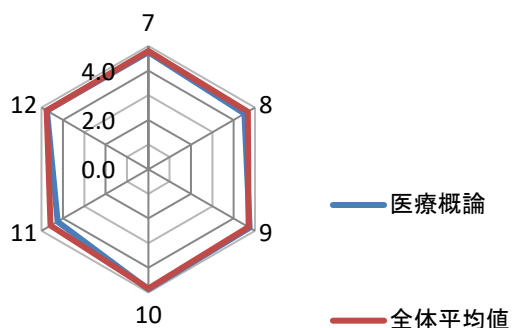
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	医療概論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.6	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.4	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.3	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	医療概論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.8	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.3	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	4.1	5.0

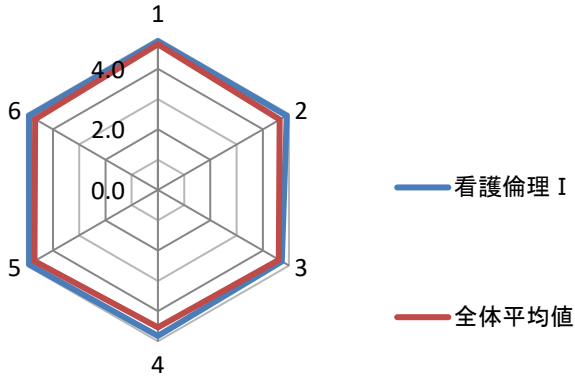
令和4年度第1学年後期「看護倫理 I (基礎)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	11	13%

実施時期(令和4年11月28日～令和4年11月30日)

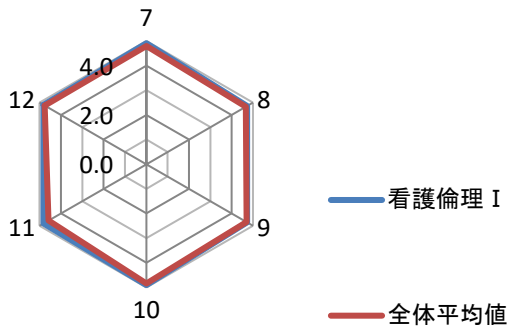
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	看護倫理 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.9	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.8	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.9	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.9	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	看護倫理 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.8	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	4.1	5.0

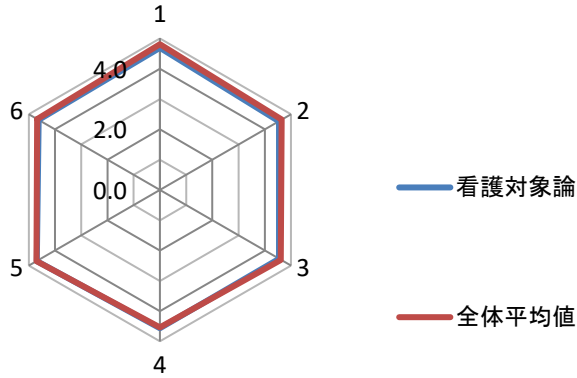
令和4年度第1学年後期「看護対象論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	13	15%

実施時期(令和5年1月6日～令和5年1月8日)

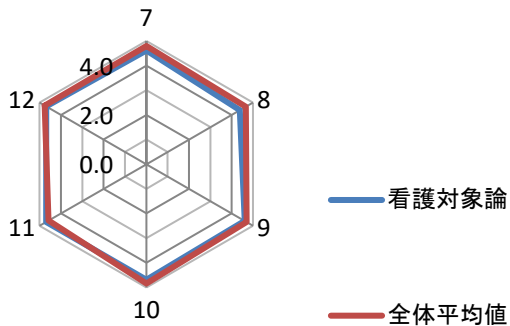
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	看護対象論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.5	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.5	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.7	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.6	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	看護対象論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.6	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.7	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.1	5.0

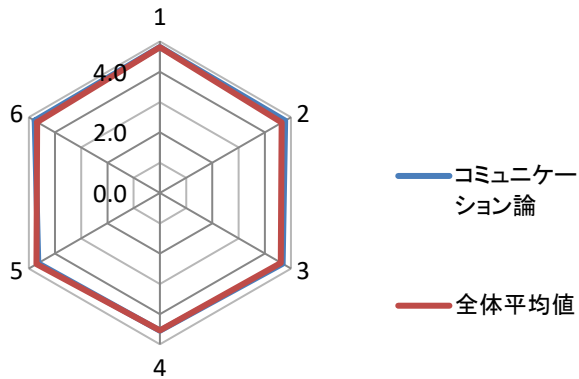
令和4年度第1学年後期「コミュニケーション論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	22	26%

実施時期(令和4年11月21日～令和4年12月2日)

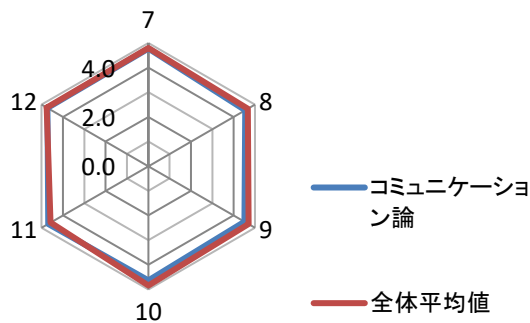
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	コミュニケーション論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.8	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.5	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	コミュニケーション論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.5	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.6	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	4.1	5.0

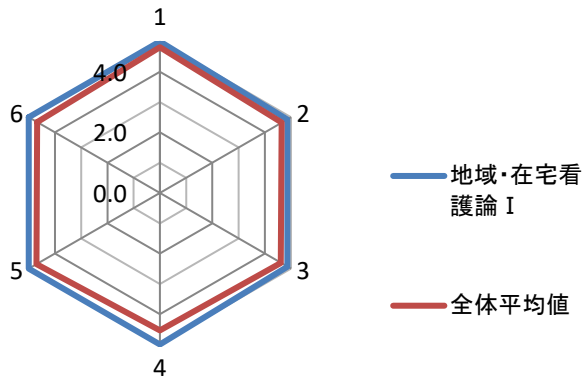
令和4年度第1学年後期「地域・在宅看護論Ⅰ（対象とケアシステムの理解）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	7	8%

実施時期(令和5年1月16日～令和5年1月18日)

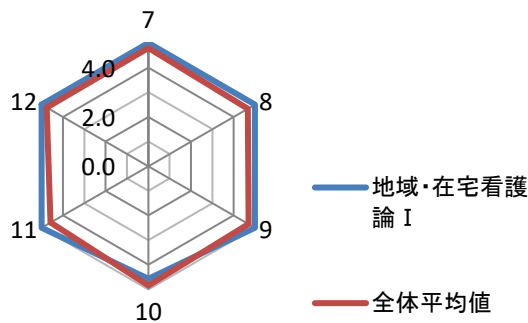
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	地域・在宅看護論Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.9	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.9	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	地域・在宅看護論Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.6	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	4.1	5.0

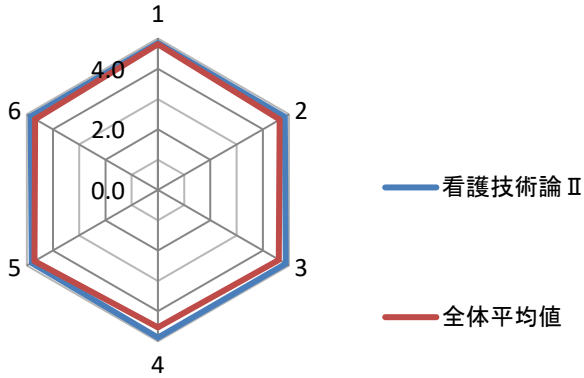
令和4年度第1学年後期「看護技術論Ⅱ（日常生活援助技術）」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	47	55%

実施時期(令和5年1月20日～令和5年1月22日)

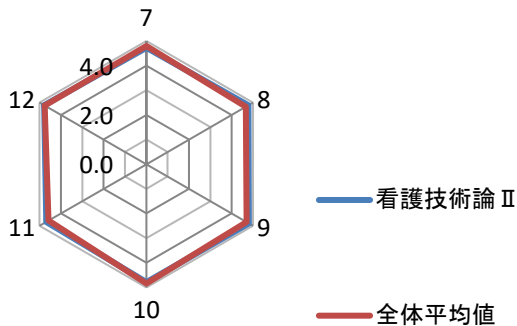
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	看護技術論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.9	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.9	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.8	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.9	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	看護技術論Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.8	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.8	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	4.1	5.0

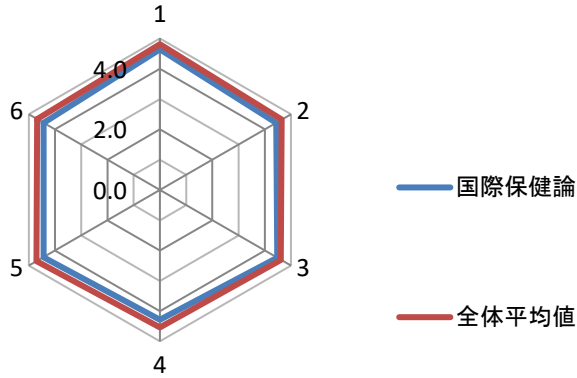
令和4年度第1学年後期「国際保健論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	53	63%

実施時期(令和5年1月17日～令和5年1月19日)

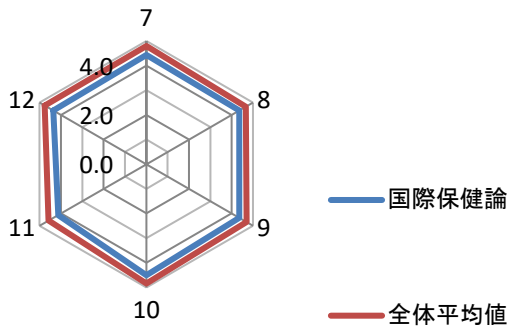
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	国際保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.6	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.4	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.5	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.3	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.4	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.4	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	国際保健論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.4	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.5	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.1	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.8	4.1	5.0

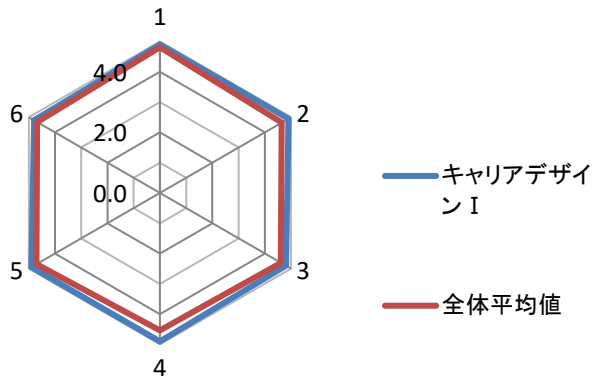
令和4年度第1学年後期「キャリアデザイン I (基礎)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	10	12%

実施時期(令和5年1月13日～令和5年1月15日)

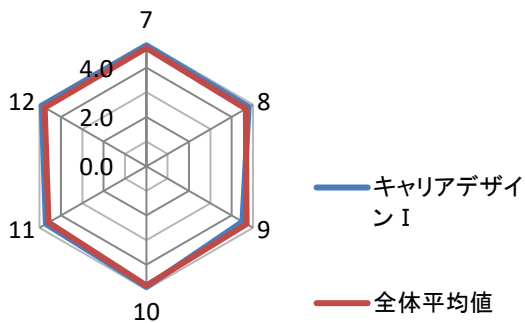
問1. 授業内容



問1. 授業内容

	キャリアデザイン I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.9	4.8	4.4	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.9	4.6	3.9	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.8	4.6	3.5	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.9	4.5	3.3	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.9	4.7	4.3	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.8	4.7	3.8	5.0

問2. 授業方法



問2. 授業方法

	キャリアデザイン I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.8	4.1	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.7	4.2	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.5	4.7	3.8	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.9	4.8	4.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.7	4.6	3.7	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	4.1	5.0